

広報

えりも

2011

11月号 №.876



「銀聖最高」とポーズ

高級ブランド秋サケ「銀聖」に舌鼓

日高定置漁業者組合が無償提供

10月12日、町内の4小中学校に、秋サケの高級ブランド「銀聖」が日高定置漁業者組合（三上徹組合長）より提供され、フライに調理されて給食に出されました。

同組合では毎年10月1日を「銀聖の日」と定め、管内の各学校に学校給食食材として無償提供しています。

この日、東洋小学校では、並べられた銀聖のフライに子どもたちが早速かぶりつき、満面の笑みを浮かべていました。

秋の味覚を満喫

第三十回 海と山の幸フェスティバル

今年で三十回目を数える「えりも海と山の幸フェスティバル」が十月二日にスポーツ公園で開かれ、大勢の家族連れなどがサケのつかみ捕りを始めとするイベントや特産品販売を楽しみ、秋のふるさと祭りを堪能しました。

小学生以下が参加する「子供宝

探し」を皮切りにイベントが進み、途中、強風と豪雨のため予定行事を一時中断する場面がありました。が、フェスティバル三十回を記念した「もちまき」の頃には回復し、やぐらの下に七十人ほどが集まって、もち拾いを楽しみました。

午後から始まったえりも高校生



行列ができた漁協女性部連絡協議会のサケ鍋

による駒踊りでは、直前にまたも強い風雨が襲いましたが、負けじと踊り切った高校生に会場から拍手が送られました。

メインイベントのサケのつかみ捕りには、三十回を記念して昨年より多い百四十人が参加し、悪天候の中、サケの水しぶきを浴びながらも懸命にサケを追いかけていました。

会場には、えりも産の生秋サケ、コンブ、牛肉などの特産品が並んだほか、えりも漁協女性部連絡協議会のサケ鍋や猟友会えりも分区のエゾシカ鍋が無料提供され、行列ができていました。



サケを追いかけるつかみ捕りの参加者

私のひごと

かぜのまち

えりも町長 岩本淳叙

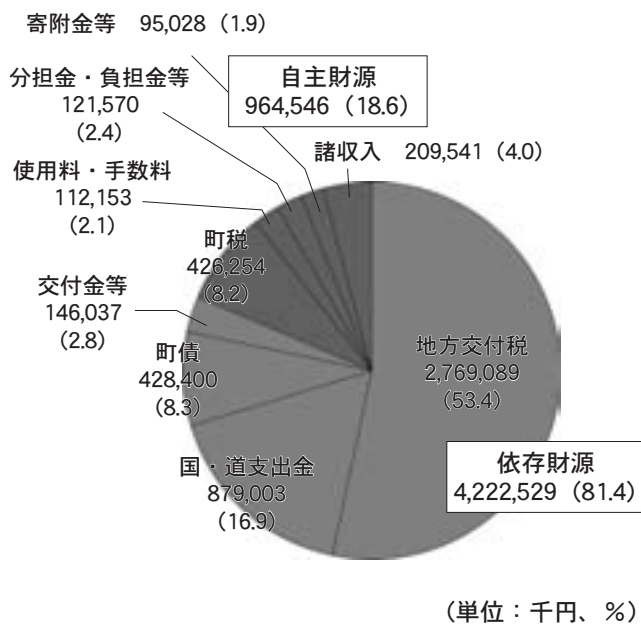
商店街に活気を

町内商店の固定客は漁業階層が中心です。ですから、漁業生産額や漁期などの強い影響を受けていることも確かでありまして、さらに大型店の進出により、本町商店街は今まさに正念場を迎えていると、いつて過言ではないと思っています。小規模店等の苦境の変革をたどれば、カネサ吉田商事がスーパー方式を取り入れたのははじめ、本格的なスーパーの出現は、昭和六十年からの本町商店街近代化事業によってでありました。

爾来、さまざまな取組みを展開しているところですが、時代は多様な顧客ニーズに対応できるものとなっています。ですが、小さな町だからこそできる商店街づくりは大いに可能だと思っています。

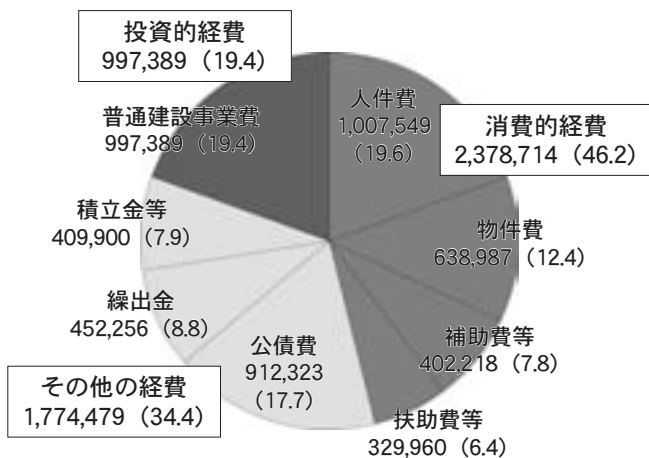


決算



歳入 5,187,075 歳出 5,150,582

■ **実質黒字は四千九百万円**
 九月十五日から二日間にわたって開かれた定例町議会で、平成二十二年 度決算が認定されました。
 一般会計と特別会計を合わせた歳入は七十三億二千二百四十六万七千円、歳入は七十二億六千三百五十八万一千円となり、差し引き五千八百八十八万五千円が黒字となりました。しかし、この中には翌年度に繰



■ **要因は国の交付税**
 二十二年 度は、基金を取り崩すことなく決算を終えることができましたが、自主財源が伸びているわけではなく、国の臨時景気対策交付金や地方交付税が伸びたことが要因です。東日本大震災の影響などで、今後

り越す九百四十万五千円が含まれているため、実質的な黒字は四千九百四十八万円となります。
 厳しい状況が予想されることから、財政の健全化に向け、さらに努力していかなくてはなりません。



町民1人当たりが納めた金額	78,659円
町民1人当たりに使われた金額	950,467円

町民1人当たりの額は、町税収入額または歳出総額を平成23年3月末の人口5,419人で割って算出したものです。

■ **各特別会計決算一覧** (単位：千円、%)

	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	994,622	985,843	8,779
簡易水道	183,481	181,860	1,621
診療所	358,122	355,353	2,769
老人保健	395	395	0
下水道	203,589	201,909	1,680
介護保険	339,355	332,702	6,653
後期高齢者医療	55,826	54,937	889

健全化判断比率	えりも町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 一般会計の赤字割合	—	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率 一般会計と特別会計の赤字割合	—	20.0%	35.0%
実質公債費比率 借入金の返済割合	16.2%	25.0%	35.0%
将来負担比率 将来負担する実質的な負債の比率	70.9%	350.0%	

資金不足比率	会計	えりも町	経営健全化基準
資金不足比率 公営企業の経営状態の健全度	簡易水道	—	20.0%
	下水道	—	

※「—」は赤字がないことを示しています。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」によって定められている健全化判断比率、資金不足率は、当町はいずれも基準を下回っており、問題はありません。

一般質問

9月定例町議会の一般質問は、7議員から11件の質問がありました。

今回は、3議員6件の質問を要約して掲載し、残りの5件は来月号に掲載します。



大坂庄吉議員

中学校教科書の採択

◆質問 日の丸君が代の歴史的経緯や意義を教えることは、教育基本法の目的に沿うものと考えているが、どう思うか。このたび文部科学書の検定に合格した教科書の中には、その目的に沿うものとは言えないものがある。そのような教科書で、学習指導要領の目的を達することができるかと思

ているか。

●答弁 教育基本法に伝統と文化、他国との尊重をうたっているが、これを国旗国歌などに置き換えても、そのとおり理解できるものと考えている。

何社かの教科書を挙げて批判しているが、文部科学省が検定済であるし、私たちはより子どもたちに理解できるものと判断し採択している。教科書の内容によつては軽重があらうかと思うが、採択に当たっては



管内7町で協議し採択する教科書

協議の上、決定していることをご理解いただきたい。

◆質問 自衛隊の活動を大半の教科書が触れていないが、これで自衛隊への正しい理解が得られると考えているか。自衛隊を憲法違反と疑える集団と記述する教科書をどう考えるか。

●答弁 教科書の内容を確認したが、自衛隊に批判的な記述は見当たらなかった。活動についても、子どもたちが十分理解できる内容になっていると思つているし、そのような視点で採択に当たつていた。

◆質問 領土問題に、他国の主張に正当性があるかの

ような記述の教科書がある。また、拉致問題が人権、主権侵害であることに触れておらず、逆に北朝鮮との関係回復の障害のように理解される可能性がある。そのような内容で子どもたちが正確な認識、理解を得られると考えているか。

●答弁 領土問題については、地理、歴史、公民の教科書を通じて教えないければならないわけだが、公平に見ても指導できていると思つている。

また、拉致問題についても、日本の外交を取り上げている内容から、理解できると思う。

◆質問 地区内における教科書採択の仕組み、役割はどのようなものか。採択は公正、公平に行われるべきと考えるか。

●答弁 北海道教育委員会が教科書採択基準を定めているが、管内では七町が同じ教科書を使うため、共同採択する場合の道の基準に従い、「北海道第十一区教科用図書採択教育委員会協

ストップザ・交通事故



これからの季節は、日没時刻が早まることなどから、交通事故が多発する傾向にあります。

交通安全を自らのことと捉え、交通事故に遭わないよう、起こさないよう十分注意しましょう。

運転者は

●夕暮れ時から夜間にかけては、歩行者などの発見がしにくくなります。早目にライトを点灯し、交差点では一時停止をし、安全確認してから通行するようにしましょう。

●車を運転するとき、シートベルトを必ず着

議会」を設立している。その中に調査委員会を設けて細かく調査し、協議会で最終決定をする手順になっている。

なお、採択には、協議会全委員の決議が一致しなければ、採択できないという方式になっている。

公正、公平については基本的なことであり、ご質問のとおりと考えている。

◆質問 調査委員会のメンバー構成と、採用決定した教科書の会社は。

●答弁 調査委員会は教員、学識経験者、PTAで構成され、各教科大体五、六名で協議し、問題点や各教科書の内容について詳しく分析し、結果をまとめている。

採用した教科書会社は、社会科だけで言えば、教育出版を使用する。理由としては、小学校が同社の教科書を使っているの、それらの発展性を考え、同じ教科書を使うことにした。

◆質問 歴史上の人物として、例えば、日本人の勤勉

の象徴である二宮尊徳をどう思うか。

●答弁 その精神なるものは、それぞれの地理や歴史の中で指導していると思われる。

えりも高校紹介の取組

◆質問 様似高校と浦河高

校の統合に伴う、様似町へのえりも高校紹介の取組みは、どのように考えているか。

●答弁 様似町民のみなさんは、様似高校存続を強く要望していた経緯もあり、そのような町民感情を考えると、直ちにえりも高校へと呼びかけることは、町民感情に悪い影響を与えると

判断している。

ただ、今回のえりも高校体験入学には、様似町から一名出席しているし、様似中学校とえりも中学校の校長、えりも高校の校長が話し合う機会も設けている。少しずつ理解をしていくことが、今の段階ではよいものと判断をしている。

吉田和正議員

空き店舗の状況

◆質問 まちづくり協議会では、四月の開館に合うように事業内容を決め、スケジュールまで示したと聞いている。どのような理由で四月に開館できなかったのか。

●答弁 昨年十二月の定例会において、事業開始時期を今年四月に考えていると答え、合わせて拙速は避けるべきという構成団体の考えを話させていただいた。

つまり、あまり遅滞のないように、しかも拙速にならないようにこれから進めたいと両論の話をしたところである。

その後、まちづくり協議会の役員会、全体会議を通して、検討・協議をしていたところだが、基本コンセプトや今後の展開などについて、町と詰め協議が必要とのことから時間を要していた。

したがって、スケジュールの提出を受けたにも関わらず、遅れているわけではない。



協議を進めている空き店舗

◆質問 具体的にはどのような事業内容で、開始時期はいつか。十二月の答弁で話していた四つのコンセプトに沿った役割を果たす施

用し、ゆとりと譲り合いの心を持って運転しましょう。

●飲酒運転は絶対にやめましょう。

歩行者は

●外出のときは、明るい服装で自分の存在を目立たせ、反射材などを活用しドライバーに歩行者の存在をアピールしましょう。

●自宅近くの身近な道路を渡るときでも、横断前に一度立ち止まり、近づいてくる車の有無を確かめましょう。

家庭では

●交通事故は、いつ何時、自分の身に降りかかるかわかりません。日頃から交通安全について話をする習慣をもちましましょう。

●外出するときは「交通事故に注意してね」などと声を掛け合い、交通安全の意識を常にもちましましょう。

設となっているのか。

●**答弁** この事業は、四つのコンセプトを基に、町民のふれあい広場、情報交流施設として運営し、地産地消の創出と地域の活性化を図ることを目的に、まちづくり協議会が事業主体となつて展開していくものである。

事業内容は、地域の情報を提供すること、トイレ・休憩所を整備し、誰でも自由に利用できる施設とすることである。具体的には、一階をえりも町の総合案内所とし、案内、展示及び交流ゾーンを配置する。二階部分は、貸しホールとして使用し、多目的、交流及び休憩ゾーンを配置するものである。

なお、トイレの整備と建築基準法の規定により階段部分を改修する必要がある、開館時期や維持管理、運営などについては、これから工事に要する日数を考慮に入れ、名称を公募し、なおかつ、今後、協議・検討をさらに進め、概ね次回開

催の議会で説明し、供用を開始したいと考えている。

◆**質問** 人員配置、費用負担、運営方法はどのような形か。ボランティアの活動などは考えていないのか。

開館のときには、この施設の機能を町民にわかってもらうためにも、施設で行うすべての事業を行ってほしい。

●**答弁** ボランティアの活用、開館時の全事業の催しについては、参考意見とし

て今後のまちづくり協議会の中で提案したいと考えている。

◆**質問** 対応が遅いのではないか。施設はまちづくり協議会に委託するのか。収益事業は行われるのか。

●**答弁** まちづくりは、ある程度時間をかけなければいけない。協議会は十七の組織団体が構成しており、それぞれの意見に基づいて協議している。したがって、何も決まってい

けではない。

運営・委託方法は、十二月に条例と規則を提案するので、委託やボランティアの活用についても示していきたい。

収益事業については、公用公共施設なので、あくまでも一次の地産地消のPRをしようとの狙いである。よつて、収益事業の考えはない。

笹谷廣喜議員

庶野保育所の改修

◆**質問** 庶野保育所の玄関は、冬期間に凍ることがあるため、手すりが必要ではないか。

また、トイレについても、行事で多くの住民が利用し、避難所としての施設でもあるので、バリアフリーにしておくべきではないか。



改修を検討している庶野保育所

●**答弁** 保育所としての機能の部分で回答するが、運動会や発表会などの行事を

含めると、現状のトイレや玄関の状態で、何とか賄えていると確認している。しかし、高齢の方々が来所することがあるのも、事実である。

そこで、手すり付き便器、玄関における手すりやバリアフリーについて、財政状況を考慮した上で、現状の施設を大きく変えない範囲で改修可能かどうかの検討をしたいと思つてい

こども議会

11月14日(月)
午後3時～午後5時
役場庁舎議場

子どもたちが1日議員となって、町への要望や意見を一般質問の形で質問します。

傍聴もできますので、ぜひご来場ください。



停電・通行止めの放送

◆質問 停電を防災無線で放送しないのはなぜか。北電への働きかけはどのような行っているのか。

●答弁 停電を全くお知らせしていないという事はない。ある程度時間を要する場合は、不具合が生じた箇所や原因を、おおよその復旧時間と合わせて防災行政無線で周知しているところであり、北電の広報車と一体となつて行っている。

放送に当たって、「停電です」と単に放送することは周知の沙汰でわかつていることであり、北電に復旧時間の早期連絡を要請し、復旧のめどが立った時点で防災無線を流している。北電との協議は、停電にならない方策、あるいは停電を減らす方策、そして停電になった場合の応急対策などについて、現在も協議を続けている。

◆質問 防災無線の通行止めの放送は、大体三十分前

後に一回のみの放送であるが、一時間前から放送し、二度ぐらい放送できないかと思う。室蘭開発への働きかけは、どのように行っているのか。

●答弁 開発としては、直前まで通行止めをしたくない、町としては早く連絡がほしいと、お互い主張が

上野勝廣議員

公共施設の耐震化

◆質問 高齢者センター、温水プールの耐震対策、ボイラーの状況はどうなのか。新しく複合施設とする構想はないか。

●答弁 町の公共施設については、平成二十一年三月に策定した耐震改修促進計画というものがあり、これによって耐震化に取り組みこととされている。

高齢者センターは、この計画の中で耐震性が確認されていない建物として挙げ

あつたが、開発と協議し、特別な事情がない限り、おむね一時間前に連絡を入れてもらうことにしている。防災無線は、その連絡と同時に二回流している。その放送は、通行止めになる時間のお知らせと、通行止めになったときの放送である。通行止めになる時間

を二回放送することは、その時間の間隔を見ながら放送するように検討したいと思う。

防災行政無線が聞こえづらいとの指摘には、その都度、調査等しながら、改善を図っているとところなので、ご理解いただきたい。

昭和五十七年以前の建物であるので、高齢者センター同様に耐震性が確認されていない建物である。老朽化が大変進んでおり、耐震化工事を行うよりも、建て替えるの必要性があると判断し

られている。これは、現行の建築基準法の改正等の経過から昭和五十七年以降に建築された建物は耐震性があると想定されるため、昭和四十八年に建設された高齢者センターは、耐震性の確認されていない建物に分類されることになる。ボイラーは、平成三年度に更新しているが、修理も多くなっている状況である。今後の見通しについては、耐震化の問題、老朽化なども考慮しながら、引き続きこの施設の将来像を検討したいと考えている。

温水プールについても、



老朽化が進む温水プール

ているところである。ボイラーに関しては、二回ほど更新しているが、そのほかにもさまざまな修繕をしている。町財政が厳しい中ではあるが、協議を進め、早急に対策を進めたいと考えているので、ご理解いただきたい。

なお、複合施設の建設に向けた検討だが、検討会議を九月五日に課長職が集まり開催したところである。今後は係長クラスの事務レベルの展開を図りながら、今後の方向性を見出していきたいと考えている。ただし、財政状況を考えて、建設時期はここの一、二年ということではないと考えている。

◆質問 前向きに検討するとなれば、今話せるスケジュールはどのようなことなのか。

●答弁 財政状況のほか、職員間で検討していき、議員、町民とも協議をしながら、将来的に施設が必要と判断されれば、建設に向けて進めていきたいと考えている。

東日本大震災で被災の栽培センター

マツカワ稚魚を搬入

十月五日、東日本大震災の津波で被災した栽培センターにマツカワ稚魚が搬入され、約七か月ぶりに水槽で元気に泳ぐマツカワの姿が見られました。

例年であれば六月に伊達市の栽培センターから約四十匹に成長したマツカワが搬入されていましたが、今年は復旧工事のため搬入が遅れていました。マツカワはすでに百匹ほどに成長していることから、日高沿岸に三十八万六千匹を直接放流しており、町内には十月下旬から十五万七千匹を放流する計画です。



元気に泳ぐマツカワの稚魚

秋空の下で力走

町体育協会四十周年記念事業・駅伝大会

十月八日、えりも町で初めてとなる駅伝大会が、町体育協会四十周年記念事業で行われ、十一チームが参加しました。

天候にも恵まれ、スポーツ公園周辺と国道沿いをコースに、一チーム四人編成で走りました。なかでも一般の部では、高校生チームのほか平均年齢三十歳以上のチームも参加し、意



元気にスタートする参加者

地と我慢のぶつかり合いを見せました。

各種目の優勝チームは次のとおりです。

- 小学校低学年の部／えりも岬野球スポーツ少年団
- 小学生高学年の部／バレー少年団A
- 一般男子の部／えりも高校サッカー部B

芸術の秋、楽しむ

新道展ひだか支部えりも展

新道展日高支部えりも展が九月三十日から十月二日にかけて福祉センターで開かれました。

会場には、三日間で約三百人が訪れ、人物や風景などが描かれた絵画二十八点をしばしの間、見入っていました。

また、同展には、えりも高校美術部の作品十五点も展示されました。



多彩な作品が並びました。

ヒグマ注意特別月間 11月30日まで

ヒグマに遭遇したら…冷静な対応を！

- ◆ **まず落ち着く** あわてず落ち着いて状況判断をしましょう。特に走って逃げると追いかけてくることあるので危険です。
- ◆ **ヒグマを刺激しない** ヒグマが気づいていないようであれば静かに立ち去りましょう。
- ◆ **持ち物を取られたら** ヒグマに持ち物をとられたときはあきらめましょう。

大会の益金を寄付

町パークゴルフ協会

九月二十八日、町パークゴルフ協会は、三日前に開かれたチャリティーパークゴルフ大会の益金を社会福祉協議会のボランティアセンターへ寄付しました。

大会には三十五人が参加し、景品は開催の趣旨に賛同した企業などから提供されました。同会の吉田博喜会長は「来年も地域に貢献したい」と話していました。



寄付を手渡す吉田博喜会長（右）



ずらりと並んだ生徒力作の行灯

行灯行列が練り歩く

えりも中学校躍動祭

今年で六十三回目を数えるえりも中学校の躍動祭が十月六日から二日間にかけて開かれました。吹奏楽部演奏や意見主張大会など盛りだくさんの内容で、最終日にはクラスごとに作られたテレビのキャラクターなどをモチーフにした行灯六基が町内を練り歩き、道行く見物客の目を楽しませていました。

子どもの目は釘付け

「幼子の集い」で人形劇

十月十四日、えりも町幼児教育振興会主催の「幼な子の集い」が、福祉センターで開かれました。

この日は、町内の保育所児童、幼稚園児、一般の親子など約百六十名が集まり、「人形劇団えりっこ」による人形の面白い動きや光と影を使った演出などに、子どもたちから大きな笑い声や、掛け声が飛び交っていました。



人形の動きに夢中になる子どもたち



枝落とし作業を行う高校生

クロマツ林も明るく

中高一貫教育で枝払い

九月二十六日、えりも高校一年生三十八人が、えりも岬の国有林で枝落としを実習し、緑化事業への理解を深めました。

これは中高一貫教育の授業の一環で、二十五年前に植えられた薄いクロマツ林は、ヘルメット姿で小型のノコギリを手にした生徒たちによって、みるみる間に明るくなっていきました。

こんにちは保健師です

知って防ぼう！

インフルエンザ

インフルエンザは毎年流行を繰り返し、乳幼児から高齢者まで誰にでも感染する危険があります。

インフルエンザウイルスから身を守るため、感染拡大の前から予防対策と抵抗力の高い体づくりが大切です。

ウイルスに負けない 予防対策と抵抗力アップ

また、人ごみを避け、マスクの着用と外出後のうがい・手洗いの習慣を身に付けましょう。

◎予防接種で重症化予防

乳幼児や高齢者は、インフルエンザにかかったときに重症化する恐れがあるので、予防接種を受けることをお勧めします。

食事 栄養をバランスよくとり、体力を落とさないようにしましょう。 	環境 室温は20℃前後、湿度は50～60%に。換気も行いましょう。 	ストレス 仕事などのストレスを上手に解消して、ストレスをためないようにしましょう。 
睡眠 体や脳の疲れをとるのに一番重要なことは休養です。 	抵抗力を上げる生活習慣	服装 薄手の服を重ね着するなど、温度調節のしやすいコーディネートをお願いします。 
運動 適度な運動で血行をよく保つことで、ウイルスに対する抵抗力が上がります。 		体を温める 体が冷えていると呼吸器の血液循環が悪くなり、抵抗力も弱くなります。 

11月の保健メモ

(連絡先 役場保健福祉課 保健予防係 ☎2-4630)

行 事	実施日	時 間	会 場
麻しん風しん混合予防接種	1日(火)、15日(火)	15:30～16:00	町立診療所 (要予約)
特定健診・がん検診	8日(火)	6:00～9:30	保健センター (要予約)
日赤巡回診療	9日(水)、25日(金)	13:30～14:30	保健センター (要予約)
三種混合予防接種	15日(火)	13:30～13:50	保健センター
B C G 予防接種		13:50～14:00	保健センター
ポリオ予防接種		14:00～14:20	保健センター
ヒブワクチン予防接種		14:20～14:40	保健センター (要予約)
小児用肺炎球菌ワクチン予防接種		14:40～15:00	保健センター (要予約)
離乳食教室 (ゴックンベビークラス)		18日(金)	13:30～15:30
二種混合予防接種	24日(木)	14:00～16:00	庶野診療所 (要予約)

- 庶野診療所 (☎4-2219)
三種混合・BCG・麻しん風しん混合・ヒブ・小児用肺炎球菌の個別予防接種
①実施日……毎週月・木曜日
14:00～16:00 ※要予約

●ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの接種を保健センターで希望する場合

接種日の前週金曜日までに、保健予防係へ電話予約(☎2-4620)が必要です。



- 浦河日赤病院 (☎0146-22-5111)
麻しん風しん混合予防接種
①小児科外来申し込み……1期(1～2歳)・2期(小学校入学前1年間の小児)・3期(中学1年生の年齢に相当する者)
②医事課申し込み……4期(高校3年生の年齢に相当する者)
ヒブ・小児用肺炎球菌の予防接種
医事課にお申し込みください。

- 広尾町かめだクリニック (☎01558-2-4724)
ヒブ・小児用肺炎球菌の予防接種を受けることができます。希望の方はお問い合わせください。

図書室だより



《おすすめ本》
ジェノサイド
高野 和明 著

急死したはずの父親から送られてきたメール。創薬化学専攻の大学院生・研人はその遺書を手掛かりに、私設実験室に辿り着く。

一方、傭兵のイエーガーは「人類全体に奉仕する仕事」を引き受けるが…。『野性時代』連載を書籍化。

図書室では、本や雑誌のほか、新聞や視聴覚資料もあります。お気軽にご利用ください。

《一般書》

■境遇 湊 かなえ

■夜明けの街で 東野 圭吾

■完盗オンサイト 小野田博一

■尾張の夏 佐伯 泰英

■姥捨ノ郷 佐伯 泰英

■かいつゾロリの はちやめちやテレビ局 原 ゆたか

■どんぐりむらのぱんやさん なかやみわ

《児童書》

■きせつの手づくり図鑑 (冬) 峯村 良子

■13歳からの東大合格英単語ノート 小野田博一

■日本の歴史まんが人物 伝 戦国武将編 田代 脩 監修

防災情報版 ⑫

震災の行動を振り返り 改善に努めよう

東 北地方太平洋沖地震により発生した巨大津波により、えりも町でも大きな被害を受けました。住民の皆様も今回の津波被害を受けて、一人一人が津波対策の様々な問題点を認識されたと思います。

日本では、過去の大きな津波被害を受ける度に、津波対策に対する問題点を洗い出し改善してきました。今回も様々な問題点が明らかになりました。その一つは気象庁が出す津波警報システムの問題でしょう。実際、津波警報は地震発生後三分程度で北海道太平洋沿岸から千葉県沿岸まで発令されました。その後、予想される津波の高さが発表され、宮城県沿岸で六段階、岩手県・福島県沿岸では三段階と予報されました。しかし発表された津波より大きな津波が襲来する

結果となってしまう訳です。

この津波の高さの予測は気象庁が一九九九年量の津波予報により始まりました。それ以前、津波警報は発令されても津波の高さの予測はありませんでした。その当時、津波警報だけでは不十分だ、どれくらい津波が来るのか分からないとどこまで避難すべきなのか分からないと、様々な機関・自治体から指摘されていました。それらの要望に答えようと気象庁は研究を重ね、一九九九年ついに量的津波予報の導入にこぎつ

けた訳です。

今回の事態を受けて気象庁でも津波予報の発表の方法を改善する方向で検討を重ねています。津波予測精度を上げより高度な津波予測に改善されていくことでしよう。報道のあり方も改善することが必要でしょう。津波予報システムについても、津波被害軽減対策にしても、個々の自治体、個人の津波防災対策も完璧にはなりえません。常に改善していくことが必要です。皆様も今回の経験を生かし、個人や家族の行動を振り返り、津波防災対応に何が足りなかったことを考え、改善に努めていただけることを期待します。



谷岡 勇市郎

北海道大学大学院理学研究
院附属地震火山研究観測セ
ンター・センター長、文部
科学省地震調査推進本部地
震調査委員会委員、国土理
院地震予知連絡会委員、北海
道防災会議地震専門委員会
委員

お知らせ



保育士を募集します

えりも町では、平成二十四年四月一日採用の保育士（正職員）を次のとおり募集します。

■採用人数 若干名
■応募資格

- 次の条件のいずれも満たす方
 - ①保育士資格を有する方、又は平成二十四年四月一日までに保育士資格を取得見込みの方
 - ②平成二十四年四月一日現在、三十歳以下で、同日から町内に居住又は居住可能な方
 - ③心身ともに健康である方
- 提出書類

- ①採用申込書②履歴書③健康診断書④学業成績証明書⑤保育士資格証明書（写し）又は保育士資格取得見込

証明書⑥卒業証明書又は卒業見込証明書（在学中の方）

※①～③は規定用紙で、いずれも役場町民生活課で用意していますが、遠方の方は郵送もできますのでお問い合わせください。また、えりも町のホームページからも印刷できますのでご利用ください。

■提出月日

平成二十三年十一月九日

※郵送の場合、当日消印有効

■採用試験

適性試験、作文試験及び面接試験

※日程は応募者に別途通知

■提出先及びお問い合わせ先

町民生活課 ☎二一四六二一

被災された方の不在者投票

東日本大震災で被災され、選挙人名簿に登録されている所在地の市区町村から他市町村へ避難されている方は滞在・避難先の市区町村選挙管理委員会にて不在者投票ができます。

選挙人名簿に登録されている住所から避難先に住民票を異動されている方の投票については、転居前又は転居後の市区町村選挙管理委員会までお問い合わせください。

■お問い合わせ先

えりも町選挙管理委員会

☎二一二二二

障害者職業能力開発校入校生募集

国立北海道障害者職業能力開発校では、求職中の障がい者の入校生を募集しています。訓練期間は一年又は二年です。

■願書受付期限 十一月二十日まで

■お問い合わせ先

北海道障害者職業能力開発校

☎〇一二五―五二―二七七四

ごみ袋の取扱店舗が追加

えりも町指定ごみ袋の取扱店舗に追加がありますので、お知らせいたします。

■追加店舗

ホームコンビニ・ツルヤ えりも

店（大和）

■お問い合わせ先

町民生活課 ☎二一四六二一

自衛官等の募集

自衛隊札幌地方協力本部静内地域事務所では、高等工科学校生徒を次のとおり募集しています。

■募集種目

陸上自衛隊高等工科学校生徒

あつまれ！一歳児



すくのび

「すくのび」は、「すくすくのびのび育て」の願いを込めたタイトルです。



かみやま まさと
上山誠仁くん
(久仁・美那)
H22.11.1生(本町)

お姉ちゃん、お兄ちゃんの後を追いかけて、元気いっぱい遊んでいます。



ますだ きょうか
増田恭佳ちゃん
(仁・砂理)
H22.11.10生(本町)

早く一緒に散歩したいね♪これからの成長が楽しみです。



かとう りお
加藤璃緒ちゃん
(友樹・あゆみ)
H22.11.16生(歌別)

いつもお兄ちゃんと一緒に、元気に遊んでいます。

■資格

平成二十四年四月一日現在、十五歳以上十七歳未満の男子（平成二十四年三月に中学校卒業又は中等

子育てテレホンサービス

【小学生期】	金遣いのあらい子ども	11/9~11/15
【中学生期】	塾通いについて	11/16~11/23
【親の学習】	判断力を養う	11/24~11/30
【幼児期】	じょうずなほめかた	12/1~12/7

☎ 2-3715

教育学校前期課程修了見込みの者)

■受付期限

平成二十四年一月六日(一次試験日は同年一月十四日)

■お問い合わせ先

自衛隊札幌地方協力本部静内地域事務所

☎〇一四六―四四―二八五五

●弁護士相談

弁護士相談センターでは、次のとおり相談を受け付けています。相談には予約が必要です。
▼浦河相談所

十一月十四日

十三時~十六時

▼静内相談所

十一月九・十六・二十一・二十八・三十日、十二月五日

十三時三十分~十六時三十分

■予約受付

月~金曜日 十時~十六時

☎〇一四六―四二―八三七三

♥ご厚志に感謝します

○大高タミさん(大和)

西えりも連合自治会へ 五万円



○寺井祐也さん(東洋)

やまと苑へ 五万円

○山中卓さん(本町)

やまと苑へ 五万円

○山中忠典さん(札幌市)

沢町自治会へ 十万円

○米谷隆義さん(目黒)

やまと苑へ 十万円

○大井一純さん(大和)

大和第一自治会へ 三万円

大和第二自治会へ 三万円

大和婦人部へ 二万円

★社協のボランティアセンターへ

えりも町パークゴルフ協会 四万七千四百円



一抹の淋^{さび}しさありて夏果てる

石森美恵子

野分け去り^{あか}灯りの見える坂の家

川村 和子

うら山の影のやわらぎ星月夜

鈴木 周子

折る波の煌^{きら}めき青し星月夜

長岡 青風

貝殻に砂つまりる残暑かな

佐々木蓉子

窓を開けとんぼう逃がすひと日かな

佐々木凌子

(えりも吟社)

ヨガ教室を開催します!!

団体、個人、体験者募集!! 身体の不調を取り除こう!

日時: 11月9日(水) 19:00~20:30
11月10日(木) 10:00~11:30
場所: 福祉センター2階 大ホール
料金: 500円(両日参加の方は1,000円)
講師: 國安松清(日本ヨガ研修道場)

お申し込み、お問い合わせは、以下まで。
①佐藤(本町) ☎2-3151 (FAX可、終日可)
②太田(新浜) ☎2-2565 (FAX可、午前のみ可)
③中岡(えりも岬) ☎3-1232 (FAX可、夜のみ可)



えりも町色彩工房

代表 安部昭子さん

大高タミさん(大和)

三万円

一万三千百円

人のうごき

(平成23年9月30日現在)

近浦	179人	68世帯
笛舞	295人	119世帯
大和	1,063人	448世帯
本町	916人	403世帯
新浜	677人	299世帯
歌別	372人	143世帯
東洋	413人	138世帯
えりも岬	567人	212世帯
庶野	724人	271世帯
目黒	174人	76世帯
合計	5,380人	2,177世帯
(男 2,684人 女 2,696人)		
転入	8人	転出 16人
出生	5人	死亡 4人

税の納期

◆国民健康保険税 第5期
(納期限 平成23年11月30日)



町民マラソン大会(10月10日・スポーツ公園)



昨年のサイエンスカフェの様子



サイエンスカフェを開催します

北大教授とえりも町民の公開講座

11月12日(土) 午後6時～
林業総合センター(えりも岬)

地震・津波をわかりやすく学ぶ

昨年、福祉センターと庶野生活館の2会場で開催したサイエンスカフェを、今年はいりも岬の林業総合センターで開催します。

サイエンスカフェとは、地震や津波について、カフェのような雰囲気できれいに語り合い、より深く理解しようとするものです。

町と北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センターが主催します。お気軽にお越しください。

■お問い合わせ先
役場企画課防災係 ☎2-4612

11月の行事

24日	20日	16日	14日	12日	8日	6日	5日	4日
運転免許証更新時講習(福祉センター/優良13時~13時30分・違反14時~16時)	えりも岬保育所発表会(えりも岬小学校/8時45分~)	冬の交通安全運動(25日)	こども議会(役場庁舎議場/15時~17時)	高齢者教室生大会(福祉センター/9時30分~13時)	避難訓練(近浦地区/10時~)	中央保育所発表会(中央保育所/8時45分~)	道新カップ北海道小学生ハレーボール大会道央大会(町民体育館/9時~17時/6日)	えりもイキキ森林づくり事業育樹祭(えりも岬国有林/14時~16時)
幼児教育講演会(福祉センター/18時三十分~二十時三十分)			町民ミニバレー大会(町民体育館/19時~21時/15日)					

北海道・えりも町企画課 住所：北海道幌泉郡えりも町字本町206番地 電話：01466-2-2111

Eメール：erimo@sage.ocn.ne.jp FAX：01466-2-4633 発行日：平成23年11月2日